

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) エフピコアルライト株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0062 岡山県笠岡市茂平2918-46	
本票作成	部署名：支援部マネジメントシステム課				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業		
事業の概要	事業内容：フィルム事業・段ボール事業 工場数：3工場（本社工場・ダンボール工場・関東工場） 従業員数：115名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		笠岡市茂平2918-46	
	②	ダンボール工場		笠岡市茂平2918-12	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                    2    所                    ●車両台数 (②該当の場合)                    台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和4年度)	(令和5年度)排出量	目標年度(令和9年度)
	2,695 t CO <sub>2</sub>	3,056 t CO <sub>2</sub>	2,561 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5年度)排出量
	①	本社工場	1,579 t CO <sub>2</sub>
	②	ダンボール工場	1,477 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和5年度	～	令和9年度	(5箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5年度)削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△13.0%	5.0%	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 省エネ法に基づく寄与率計算で算出(①では段ボール製品の生産面積(万㎡)を、②ではプラスチックフィルムの生産重量(千t)を原単位とし、その寄与率を計算したもの)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5年度)	目標年度
		100.000	113.000	95.000
	t CO <sub>2</sub> /(%)	t CO <sub>2</sub> /(%)	t CO <sub>2</sub> /(%)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

温室効果ガスの排出は増加しており、年△1.0%の目標は未達となりました。電力会社の排出係数が基準年を大きく上回ったこと(0.000299t-CO<sub>2</sub>/kwh→0.00036t-CO<sub>2</sub>/kwh)が主な原因です。その他、ダンボール工場において設備老朽化による故障が増加して生産効率が悪化したこと、生産量が落ちたことも影響しています。本社工場で実施した省エネ施策は一定の効果が得られたものの、排出量の増加を完全に吸収するには至りませんでした。今後も生産設備の更新や増床工事による不確定要素が多い状況ですが、エネルギー管理委員会を軸に省エネルギーの施策を推進していきます。

**【推進体制】**

**【ISO14001に基づき社長をトップとした環境推進体制を整備】**

推進体制…環境推進委員会（4回/年）、マネジメントレビュー（2回/年）

**【省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備】**

推進体制…エネルギー管理委員会（4回/年）

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	(令和5年度実施分) ・エゼクタ用ブロワのインバータ化 (CO2削減量: 111.6 t/年) ・原料輸送制御装置の改修による電力削減 (CO2削減量: 17.1 t/年) ・タスク域とアンビエント域の空調運用の変更 (CO2削減量: 13.2 t/年) ・スリスコッターブロワインバーター設定値見直し (CO2削減量: 11.7 t/年)
ダンボール工場	
本社工場	(今後実施予定分) ・自家消費型太陽光発電設備の設置 (出力: 200KW程度) (CO2削減量: 122 t/年) ・エリア毎の空調設定の見直し (CO2削減量: 1.5 t/年) ・ボイラーの燃料転換 (A重油→都市ガス) (CO2削減量: 284 t/年) ・高効率変圧器の導入 (アモルファス) (CO2削減量: 2.3 t/年) ・コルゲート機 (ウェット) の更新 (CO2削減量: 20.44 t/年) ・自家消費型太陽光発電設備の設置 (出力: 500KW程度) (CO2削減量: 220 t/年) ・400V配電への切り替え (CO2削減量: 3 t/年) ・変圧器の運転台数の削減 (解列) (CO2削減量: 1.8 t/年)
ダンボール工場	

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	自家消費型太陽光発電設備の導入 (場所: 本社工場屋上 規模: 出力200KW程度 設置予定時期: 2025年度) (場所: ダンボール工場屋上 規模: 出力500KW程度 設置予定時期: 2025年度)
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・家庭の電力量を削減した社員を表彰
- ・省エネ診断 (エネルギー管理士連盟支援) 結果に基づく省エネチューニングのブラッシュアップ
- ・各種省エネルギーセミナー、カーボンニュートラルセミナーへの参加
- ・関東工場のエゼクタ用ブロワのインバータ化 (CO2削減量: 58.9 t/年)